

流通科学研究演習 I (音成ゼミ)

～バドミントン大会 ボランティア活動 (報告)～

流通科学部 3 年生の流通科学研究 I (音成ゼミ) では、運動・スポーツをテーマにボランティア活動やライジング福岡の企画を行っています。

平成 26 年 6 月 14 日 (土)・15 日 (日) 福岡市南体育館にて、第 24 回福岡障がい者オープンバドミントン大会の運営支援を行いました。吉川ゼミからも 1 名参加しました。



本大会は、下肢・聴覚・知的などの障がい者が参加しています。そして、健常者でも車いすを使用すると参加できる点もこの大会の特徴です。今回は、日本と韓国の国際交流もかねて、韓国の選手もたくさん招待され、活気あふれる大会になりました。日本トップクラスの方を含めて、全国各地より選手が集まりました。また、トレーナールームも設置され、大変整った環境で行われていました。

私たちの役割は、本部での進行補助、結果記録・掲示、選手招集をグループに分かれて行いました。特に、聴覚障がいの選手は、場内放送が聞こえないので、より配慮が大切でした。手話通訳の方もいらっしゃいましたが、全員につきっきりになれるわけではありません。そのため、自分の力でコミュニケーションをとらないといけない場面も多々ありました。はじめは戸惑いましたが、小さなホワイトボードを借りて、文字でコミュニケーションをとるという工夫をし、できるだけ顔をおぼえるように努力をしました。そうすることによって、選手の方に、よりスムーズに情報を伝えることができたように思います。

このボランティア活動を通して、ふれあう機会の少ない障がい者の方や韓国の方と交流ができて、良い経験になりました。日本および韓国の代表選手が参加しているなど、とてもレベルの高い試合も観ることができました。また、特別支援学校の選手がみんな、帰り際に「ありがとう。」と私たちに言ってくれたことがとてもうれしく、このボランティアに参加してよかったなと思いました。



中村学園大学 流通科学部
音成ゼミ 3 年 河野 有真
川野 美紗
下坂 麻子